

豊橋技術科学大学からの派遣留学制度

2011/6/20

留学目的	語学留学		授業履修・単位取得		研究		その他申請可能な留学(支援)プログラム	
渡航先候補	語学スクール	大学の別科 Language Center等	協定校	協定校以外	協定校	協定校以外		
利点	あらゆる形態 期間も自由自在 体験レッスンも可 途中変更等	質の高さ、安心感 大学施設の利用 大学の講義履修可能な場合あり	語学学習が可能な場合あり (例:台湾師範大での中国語コース) 単位が取得できる 授業料免除	選択肢が豊富	授業料免除 単位認定が可能な場合あり	「実務訓練」等、短期間であれば授業料不要の場合も	・海外実務訓練(学部4年生) ・海外インターンシップ(修士学生)	
難点	単位取得不可 選択肢が多すぎる	期間・授業形態の制約 資格要件 座学中心かも	ある程度の語学力必須 語学学習には不向き 期間、要件に制限がある 英語圏にほとんど無い	単位認定は難しい	ある程度の語学力必須 語学学習には不向き 単位取得は難しい 英語圏にほとんど無い	単位認定は難しい 基本的に授業料必要	・JASSO長期派遣 ※海外の大学院で学位を取得する奨学金プログラム(DDP含む。返済不要)	
留学期間	自由に設計可能	5、10、15週間等、期間の指定あり	基本的に先方大学の1学期間(半年)～1年 11月～3月など、先方の学期制による		数週間～1年で選べる場合あり 先方大学の受入体制による		・博士後期課程ダブル・ディグリー・プログラム ※本学と東フィンランド大学の博士号を同時に取得するプログラム	
本学での単位認定	不可	不可	可 ※要確認	困難	可能な場合あり (卒業研究や輪講等)	困難	・JASSO第二種奨学金(海外/短期留学) ※有利子奨学金	
滞在先	ホームステイ、ホテル アパートメント、提携寮	学内寮、ホームステイ、 ホテルアパートメント	学生寮(ホームステイ、ホテルアパートメントも可)					
費用	語学学校、大学別科では大差なし		渡航費、生活費のみ	渡航費、生活費、授業料	渡航費、生活費のみ	渡航費、生活費、授業料		
奨学金等支援	学校によっては、授業料割引制度がある場合も	なし	海外研修生、JASSO短期派遣、JASSO長期派遣、その他民間・自治体・外国政府等の奨学金					
申請・照会先	直接申請、または国際交流課から資料請求		国際交流課を通じて申請	直接申請、または国際交流課を通じて申請	指導教員に問い合わせ			

※ほかに、海外で開催される国際学会での発表への支援(海外研修生制度)があります。

「休学」と「留学」について

「休学」の場合は、所定の期日までに手続きを行えば、授業料を支払う必要はありません。休学中は、在学とみなされませんので、休学期間分だけ、卒業・修了が遅くなります。

※授業料が発生する前々月末までに休学願いを提出する必要があります(授業料発生日:前期4/1、後期10/1)

「留学」の場合は、留学期間中の授業料を支払う必要があります。留学中は在学とみなされますので、標準修業年限で卒業・修了することが可能です。

詳しくは、教務課教務係まで。

豊橋技術科学大学 海外留学支援制度

2011/5/20

		対象プログラム	対象学年	支援額・支援内容	申請締切	申請先・問合せ先
	海外研修生制度	1. 海外で開催される国際学会参加 2. 海外留学(2ヶ月以上)	全学年 (実施時期は問わない)	100,000 ～300,000円程度 (渡航先・渡航目的による)	5月	国際交流課留学生交流係
	海外実務訓練等支援金	1. 海外実務訓練(後期2)	学部4年のみ	100,000 ～150,000円 (渡航先による)	6月	学生課キャリア支援係
		2. 海外インターンシップ(主に夏期2週間以上)	博士前期学生のみ		5月	教務課教務係
	協定校への短期交換留学	協定校への短期留学(研究・授業履修)	全学年	先方での授業料免除、 学生寮への入居など	受入れ大学 による	国際交流課留学生交流係
日本学生 支援機 構	JASSO短期留学推進制度	協定校への短期留学(研究・授業履修)	全学年	奨学金月額8万円	1月初め	国際交流課留学生交流係
	JASSO長期派遣留学生	本学を卒業・退学・休学して、海外大学の正規課程に入学するプログラム。 ※ダブルディグリー・プログラム(DDP)を含む。	修士以上の課程 ※東フィンランド大学との DDPは、博士後期課程学 生のみ	奨学金月額102,000円～ (渡航先による) ※フィンランド:136,000円	12月末	国際交流課留学生交流係
	第二種奨学金(短期留学)	在学中に協定校への短期留学 (3ヶ月以上1年以内)	全学年	有利子貸与	1・4・9月	学生課生活支援係
	第二種奨学金(海外)	本学を卒業・修了して、学位取得を目的に海外大学院の正規課程に入学するプログラム。	全学年	有利子貸与	9月	学生課生活支援係
その他	その他民間・自治体・ 外国政府等の奨学金	各支援団体に直接問い合わせ または、国際交流課のウェブページ参照( <a href="http://www.office.tut.ac.jp/ryu/">http://www.office.tut.ac.jp/ryu/</a> ) 海外インターンシップ情報については、JODC海外現地法人インターンシップも参照( <a href="http://www.jodc.or.jp/internship/">http://www.jodc.or.jp/internship/</a> )				

申請時期について

年度ごとに異なりますので、興味のある学生は、必ず余裕を持って、事前に各担当までお問い合わせください。

「休学」と「留学」について

「休学」の場合は、所定の期日までに手続きを行えば、授業料を支払う必要はありません。休学中は、在学とみなされませんので、休学期間分だけ、卒業・修了が遅くなります。

※授業料が発生する前々月末までに休学願いを提出する必要があります(授業料発生日:前期4/1、後期10/1)

「留学」の場合は、留学期間中の授業料を支払う必要があります。留学中は在学とみなされますので、標準修業年限で卒業・修了することが可能です。

詳しくは、教務課教務係まで。